

沖高保発第6-42号

令和 6年 6月10日

(一社)沖縄県高圧ガス保安協会

冷凍・空調部会・一般高圧ガス部会 共催

冷凍・空調関係事業所及び高圧ガス関係事業所 各位
(設備管理担当者へお渡し下さい)

北海道地区

最先端及び最新冷凍空調設及び優良高圧ガス施設等県外視察研修会

(こ 案 内)

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当冷凍・空調部会並びに一般高圧ガス部会では、会員事業所の技術向上と人材交流を目的として県外最先端施設及び最新の冷凍、空調施設、優良高圧ガス施設等の視察研修会を実施いたします。

今回はカーボンニュートラル社会の実現に向けて、関連分野の中でも大きな効果が期待される冷凍空調分野に於いての課題解決に向けた、省エネルギー技術、グリーン冷媒への転換、デジタル化IoT促進、関連情報のクラウド管理技術向上及び人手不足への対応とした、自動化、ロボット技術の導入に対応した事業所の視察を行います。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮ではございますが関係事業所の皆様には、今後の取り組むべきヒントとなる技術であり、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

※航空賃、宿泊費、バス代等の高騰により、参加料が値上しておりますことをご了承下さい。

記

- 実施期間 令和6年9月4日(水)～9月6日(金)(2泊3日)
- 視察内容 別紙
- 参加料 ①会員事業所 129,000円(消費税11,727円/税率10%込み)
②一般事業所 139,000円(消費税12,636円/税率10%込み)
【航空賃、宿泊費、バス代、JR代、旅行傷害保険料、欠航損害保険料込み】
- 定員 25名(先着順で受付させていただきます。)
- 申込方法 参加料を振込み後、写しを **6/10～6/26** までに当協会宛メール、FAXにて申し込み下さい
【申し込み後のキャンセルは出来ませんので代理出席をご検討下さい。】
※ 振込先口座番号 一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会
琉球銀行 金城支店 普通預金 144450
※ **インボイス登録番号 T9-3600-0500-0059**
※最低人数が10名以下の場合は中止する場合がございます。
- 問い合わせ先 (一社)沖縄県高圧ガス保安協会 {担当 島田、与那原、又吉}
〒901-0152 那覇市字小禄1831番地1(沖縄産業支援センター403-1)
TEL 098-858-9562 E-mail matayoshi@okinawakhk.or.jp FAX 098-858-9564

受付番号 番

県外視察研修会参加申込書(E-mail matayoshi@okinawakhk.or.jp)(FAX 098-858-9564)

事業所名	部署名(役職)		
連絡先	TEL	FAX	
参加者	フリガナ氏名		
	生年月日	平成 昭和	年 月 日 (歳)
	携帯		
	E-mail		
	宿泊	<input type="checkbox"/> 喫煙ルーム希望	<input type="checkbox"/> 禁煙ルーム希望
	飛行機座席	<input type="checkbox"/> 通路側希望	<input type="checkbox"/> 窓側希望

※参加者が複数の場合は、申込用紙をコピーして使用して下さい。(一人1枚)

※本用紙に記載の個人情報は、今回の視察研修会の目的以外に利用致しません。また、使用後は速やかに廃棄するものとします。

最先端施設及び最新冷凍・空調設備 県外視察研修会

日時	令和6年9月4日(水)～9月6日(金) <2泊3日>
宿泊先	ホテルマイステイズ札幌アспен 〒060-0808 札幌市北区北8条西4丁目5番地 TEL 011-700-2111
出発便	那覇空港→羽田空港→新千歳空港 那覇発JAL 900(7:20発) 羽田発JAL 511(10:30発) 新千歳着(12:05)
帰り便	新千歳空港→羽田空港→那覇空港 新千歳発JAL 510(13:05発) 羽田発JAL921(15:55発) 那覇空港着(18:35)

1日目 新千歳空港ターミナルビル ～省エネ・環境性優れた空港ターミナルビル～



14:00 ~ 15:30

①新千歳空港における環境へ取り組み[CO2削減]※概要説明
 ②天然ガスへの燃料転換
 ③コージェネレーションの採用
 [排熱の電力・温熱・冷熱に変換し、自前でエネルギー供給]
 ④雪冷熱エネルギーの活用 [除雪で集められた雪の冷水利用]
 ⑤雪山方式冷熱供給システム [雪氷を融解した冷水利用]
 工事中の為、一部見学が出来ない場所もございますので了承下さい。

2日目 北海道クールロジスティクス苫小牧埠頭 ～自動温度制御、自動倉庫、移動ラック、IT活用等の最新冷凍倉庫～



9:30 ~ 11:00

北海道クールロジスティクスプレイスは、多温度対応、鮮度維持、環境対応、省エネ・省力化など先進的な機能を有しております。こうした先進的な機能により、①道内原材料等の鮮度を維持した「長期保管インフラ」、災害対応力を支える「地域防災拠点」の整備を図り、食の物流の高度化へ貢献を目指します。食品を取り扱う事業者にとって「食の安全確保」は最重要事項です。当社施設では、衛生管理を徹底し食品の安全性確保に取り組んでおり、こうした当社の衛生管理方法は北海道が独自に設定した基準「北海道HACCP自主衛生管理認証制度」に適合し倉庫業者として初めて同制度を認証取得しました。食の安全に万全を期して、道産食品の安全性確保と信頼性向上に努めています

2日目 『ESコンフィールドHOKKAIDO』 ～ESP(エネルギーサービスプロバイダ)北海道電力～



14:00 ~ 15:00

新球場ESコンフィールドは、世界最大級のLEDビジョン等の最先端技術を活用した装置や、電気ヒートポンプやガスコージェネレーションなどの省エネ・環境性に優れた設備の他、開閉式屋根や球場内温浴・ホテル施設等、最新鋭且つユニークな施設・設備で構成されています。当施設としては天然ガスコージェネレーションを核として電気・温水・冷水を作り、HPポンプ設備やボイラー設備と組み合わせ、施設全体にエネルギー供給を行っています。その他、大型の非常用発電機も備え、万が一の停電時のBCPの維持や来場者の安全確保に配慮した設備構成となっています。
<今回の見学は球場施設のみです。機械室の見学はありません>

2日目 『KUBOTA AGRI FRONT』 ～最先端作物栽培、未来の農業が体験できる施設～



15:30 ~ 16:30

当施設は、㈱ファイターズスポーツ&エンターテインメントおよび国立大学法人北海道大学との間で締結した3者連携協定に基づき企画・構想した施設です。今後も「次世代の農業を担う人材の育成」、「農業を中心としたコミュニティの創出や人材交流」といったテーマに共同で取り組み、広大な北海道の大地から、農業の未来ビジョンを発信する最先端施設。
 ※ロボットの生産による植物工場、衛生による遠隔運転等

3日目 新さっぽろエネルギーセンター(北ガス) ～省エネと災害に強いスマートシティ～



9:00 ~ 10:30

札幌の副都心、新さっぽろ駅周辺の新たな街全体のエネルギーを担う中心施設が「新さっぽろエネルギーセンター」です。街内の各施設の照明、冷暖房、給湯、融雪などを行うために必要なエネルギーの製造・供給をしています。新さっぽろエネルギーセンター内に設置された発電機(ガスコージェネレーション)や熱源機器によって電気・温水・冷水をつくり、エネルギーとして活用されます。また、新さっぽろエネルギーセンターでは、CEMS(Community Energy Management System: 地域エネルギーマネジメントシステム)によって、エネルギー使用状況の把握や需要を予測し、エネルギーを効率的に管理しながら、街全体の省エネを支える省エネと災害に強いスマートシティ。

最先端施設及び優良高圧ガス設備 県外視察研修会

日時	令和6年9月4日(水)～9月6日(金) <2泊3日>	
宿泊先	ホテルマイステイズ札幌アспен 〒060-0808 札幌市北区北8条西4丁目5番地 TEL 011-700-2111	
出発便	那覇空港→羽田空港→新千歳空港 那覇発JAL 900(7:20発) 羽田発JAL 511(10:30発) 新千歳着(12:05)	
帰便	新千歳空港→羽田空港→那覇空港 新千歳発JAL 510(13:05発) 羽田発JAL921(15:55発) 那覇空港着(18:35)	
1日目	<h2>新千歳空港ターミナルビル</h2> <p>～省エネ・環境性優れた空港ターミナルビル～</p>	
14:00 ～ 15:30	<p>①新千歳空港における環境へ取り組み[CO2削減]※概要説明 ②天然ガスへの燃料転換 ③コージェネレーションの採用 [排熱の電力・温熱・冷熱に変換し、自前でエネルギー供給] ④雪冷熱エネルギーの活用 [除雪で集められた雪の冷水利用] ⑤雪山方式冷熱供給システム [雪氷を融解した冷水利用] 工事中の為、一部見学が出来ない場所もございますので了承下さい。</p>	
2日目	<h2>大陽日酸北海道 苫小牧工場</h2> <p>～産業ガス、医療ガスの充填施設及び容器検査～</p>	
9:00 ～ 10:30	<p>ものづくりの分野である自動車産業や造船業、建設業や食品業界では酸素や窒素、アルゴンなど様々な産業ガスが使用されています。スマートフォンなどのデバイス製造や最新の技術の開発、医療の現場でも、産業ガスは欠かすことができません。あらゆる場所で必要とされる高圧ガスの製造、容器検査及び安心・安全配送を担う、操業90年余りの歴史ある産業ガスの企業です。 ①空気分離装置②一般ガス充填設備③容器再検査所④アセチレン製造設備等</p>	
2日目	<h2>「エスコンフィールドHOKKAIDO」</h2> <p>～ESP(エネルギーサービスプロバイダ)北海道電力～</p>	
14:00 ～ 15:00	<p>新球場エスコンフィールドは、世界最大級のLEDビジョン等の最先端技術を活用した装置や、電気ヒートポンプやガスコージェネレーションなどの省エネ・環境性に優れた設備の他、開閉式屋根や球場内温浴・ホテル施設等、最新鋭且つユニークな施設・設備で構成されています。当施設としては天然ガスコージェネレーションを核として電気・温水・冷水を作り、HPポンプ設備やボイラー設備と組み合わせ、施設全体にエネルギー供給を行っています。その他、大型の非常用発電機も備え、万が一の停電時のBCPの維持や来場者の安全確保に配慮した設備構成となっています。 <今回の見学は球場施設のみです。機械室の見学はありません></p>	
2日目	<h2>「KUBOTA AGRI FRONT」</h2> <p>～最先端作物栽培、未来の農業が体験できる施設～</p>	
15:30 ～ 16:30	<p>当施設は、(株)ファイターズスポーツ&エンターテインメントおよび国立大学法人北海道大学との間で締結した3者連携協定に基づき企画・構想した施設です。今後も「次世代の農業を担う人材の育成」、「農業を中心としたコミュニティの創出や人材交流」といったテーマに共同で取り組み、広大な北海道の大地から、農業の未来ビジョンを発信する最先端施設。 ※ロボットの生産による植物工場、衛生による遠隔運転等</p>	
3日目	<h2>新さっぽろエネルギーセンター(北ガス)</h2> <p>～省エネと災害に強いスマートシティ～</p>	
9:00 ～ 10:30	<p>札幌の副都心、新さっぽろ駅周辺の新たな街全体のエネルギーを担う中心施設が「新さっぽろエネルギーセンター」です。街内の各施設の照明、冷暖房、給湯、融雪などを行うために必要なエネルギーの製造・供給をしています。新さっぽろエネルギーセンター内に設置された発電機(ガスコージェネレーション)や熱源機器によって電気・温水・冷水をつくり、エネルギーとして活用されます。また、新さっぽろエネルギーセンターでは、CEMS(Community Energy Management System: 地域エネルギーマネジメントシステム)によって、エネルギー使用状況の把握や需要を予測し、エネルギーを効率的に管理しながら、街全体の省エネを支える省エネと災害に強いスマートシティ。</p>	